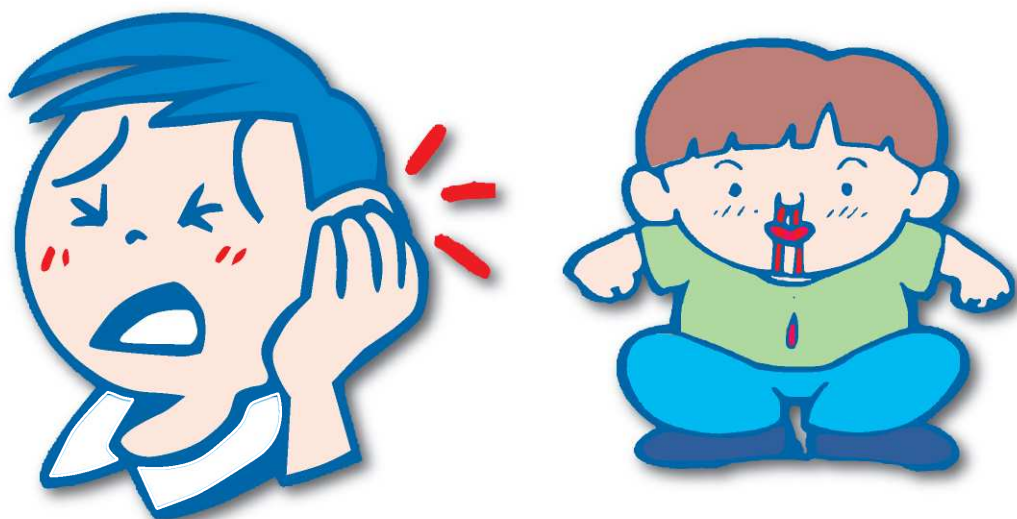


「みみ」 「はな」 の 夜の救急処置



川崎市耳鼻咽喉科医会



耳を痛がる

お子さんが耳を痛がるのは、夕方あるいは真夜中が多いようです。あわてて救急病院に連れてこられる保護者の方がいらっしゃいますが、ちょっと待ってください。

耳を痛がる原因のほとんどは急性中耳炎です。この急性中耳炎は、緊急に治療しなければならぬ病気ではありませんし、解熱鎮痛剤（*1）を使用することにより痛みはだいぶ、やわらぎます。痛みがおさまっても、翌朝、耳鼻咽喉科を受診してください。

ただし、高熱などがあり、けいれん（ひきつけ）を起こしている、吐く、ぐったりしているなど全身状態が悪いときは、早急に小児科のある救急病院を受診した方がよいと思われます。（*2）



*1 小児用バファリン

アセトアミノフェン（商品名：カロナール細粒、カロナールシロップ、アルピニー坐薬、アンヒバ坐薬など）

*2 かながわ救急相談センター（24時間対応）



小児の鼻出血（はなぢ）

鼻出血（はなぢ）は、突然出血するとお子さん本人も、保護者の方もあわててしまうことがあります。あわてずに対応するため、鼻出血の原因や、応急の止血方法を知っておくことが重要です。

◆原因は？

小児の鼻出血の原因のほとんどは、鼻ほじり、鼻こすりなど、お子さんが自分で鼻の中にキズをつけたことによるものです。まずは鼻をいじらないように言い聞かせることが第一の治療です。



図1



鼻出血の出る場所は、鼻の入り口から入ってすぐの部分で、発見した人の名前をつけてキーゼルバッハ部位、と呼ばれます。（図1）

また、アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などがあるとさらに鼻水やムズムズ感などが気になって鼻ほじりが増えるので、これらの疾患がある場合にはその治療も重要です。

◆応急の対応は？

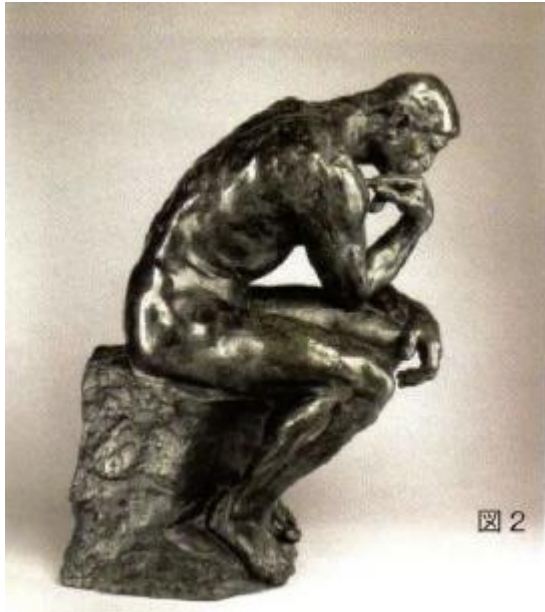


図2

鼻出血の応急の止血法としては、図2の、ロダンの「考える人」のポーズで、鼻翼（小鼻の柔らかい部分）を左右から指でつまんで圧迫すれば、ほとんどの小児の鼻出血は数分～10分ほどで十分に止血できます。この際、ノドに回った血液を飲み込んでしまうと、あとで吐き気のでつらい思いをしますので、ノドに回った血液は、洗面器やティッシュなどに口から吐き出してください。また、寝ながらの処置は血液がノドに回りやすくなりますので避けてください。

◆誤った止血法

ところで、誤った止血方法が広まっていますので注意が必要です。鼻の根っこの、骨のある硬い部分を外から圧迫しても鼻の中のキズ（キーゼルバッハ部位）には圧迫がとどきませんので、全く無意味です。鼻翼を左右からはさみこんで圧迫することが重要です。

また、首の後ろをトントン叩くとか、鼻をかんで血液を飛ばせば止まるとか、これらは効果が無いが、むしろ鼻をかむと刺激でよけい出血しますので危険です。

上記のようなことを踏まえ、お子さんの鼻出血に際しても、あわてず正しい応急処置で対応していただければ、自宅で数分～10分ぐらいで十分に止血できます。あわてて救急にかけて必要のあるケースはあまり多くはありません。

あまり何度も鼻出血を繰り返したり、なかなか止まらないようなら、耳鼻咽喉科を受診することを勧めます。大人の鼻出血では小児と異なる対応が必要となる場合がありますので、夜間なかなか止まらなければ*[かながわ救急相談センター](#)で受診できる医療機関をご案内いたします。



かながわ救急相談センター〔24時間対応〕



7 1 1 9

直通ダイヤル

〔045-232-7119 または 045-523-7119〕

■救急医療相談

看護師が傷病者の状況を聞き取り、「緊急性のある症状なのか」や「すぐに病院を受診する必要があるか」等を判断します。

相談内容から緊急性が高いと判断した場合には、救急車の要請を、緊急性が低いと判断した場合には、受診のタイミングをアドバイスします。

■医療機関案内

相談員が、現在受診可能な医療機関をご案内いたします。

※案内された医療機関には、必ず電話連絡を行い受診できるか確認をお願いいたします。

※聴覚障がいがある方はFAXにより医療機関案内がご利用できます。
FAX 045-242-3808（医療機関案内のみ利用可能です。）

■LINE「かながわパーソナルサポート」

お使いのスマートフォンや携帯電話から、ご自身で「救急緊急度判定」「医療機関検索」を利用することができます。



県ホームページ

◎緊急かつ重篤な場合は、119番で救急車を呼びましょう